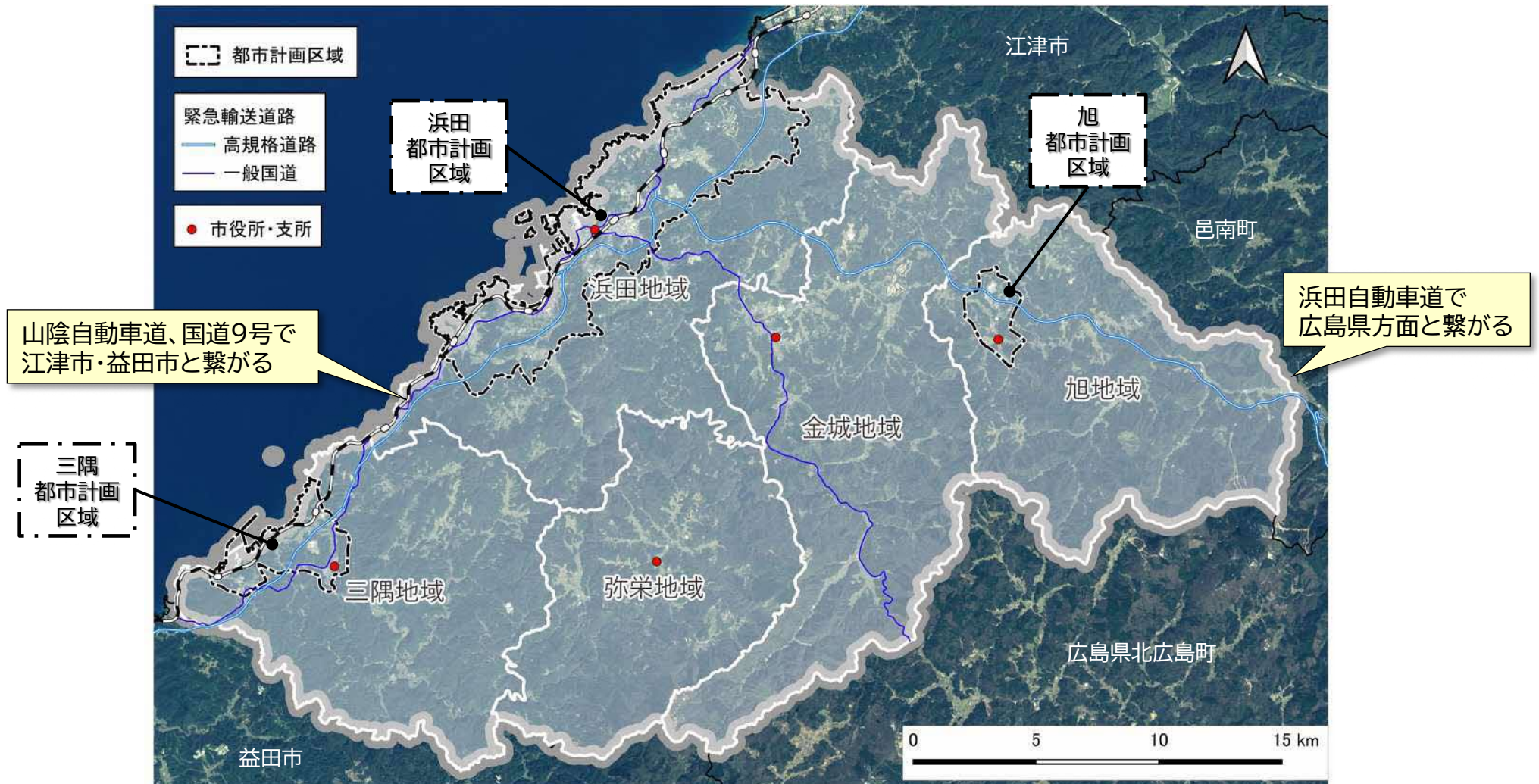


(5)現状分析及び市民意見から抽出したまちづくりの課題

1. 浜田市の概況

【地勢】

- 平成17年10月1日、旧浜田市・金城町・旭町・弥栄村・三隅町の5市町村が合併して誕生し、島根県西部の中核都市となっている。
- 東西46.4km、南北28.1km、面積は690.64km²と県内の市町村で2番目に広く、大部分が丘陵地や山地で、沿岸部はリアス式海岸となっている。
- 主要な道路として「山陰自動車道」「国道9号」が海岸線に並行して走り、「浜田自動車道」が広島県方面へ繋がっている。
- 浜田・旭・三隅の3つの都市計画区域が設定されている。



1. 浜田市の概況

【総人口】

- H7以降、総人口は減少を続けており、将来にわたり**少子高齢化が進む**ことが予測される。
- 地域別人口を見ると、**全体に減少傾向**が見られる。ただし、三隅地域・旭地域では社会的要因と思われる人口増加が見られる時期もある。

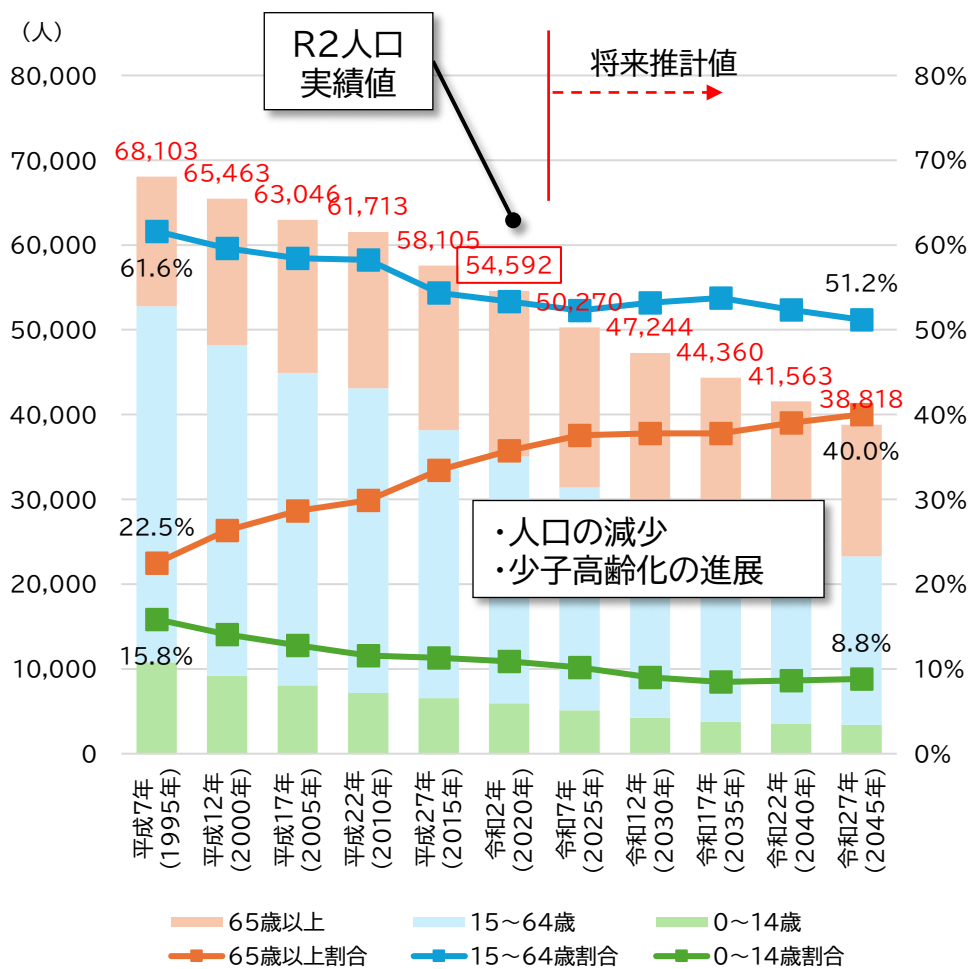


図 年齢3区分別人口の推移

(出典:国勢調査、日本の将来推計人口(R5推計))

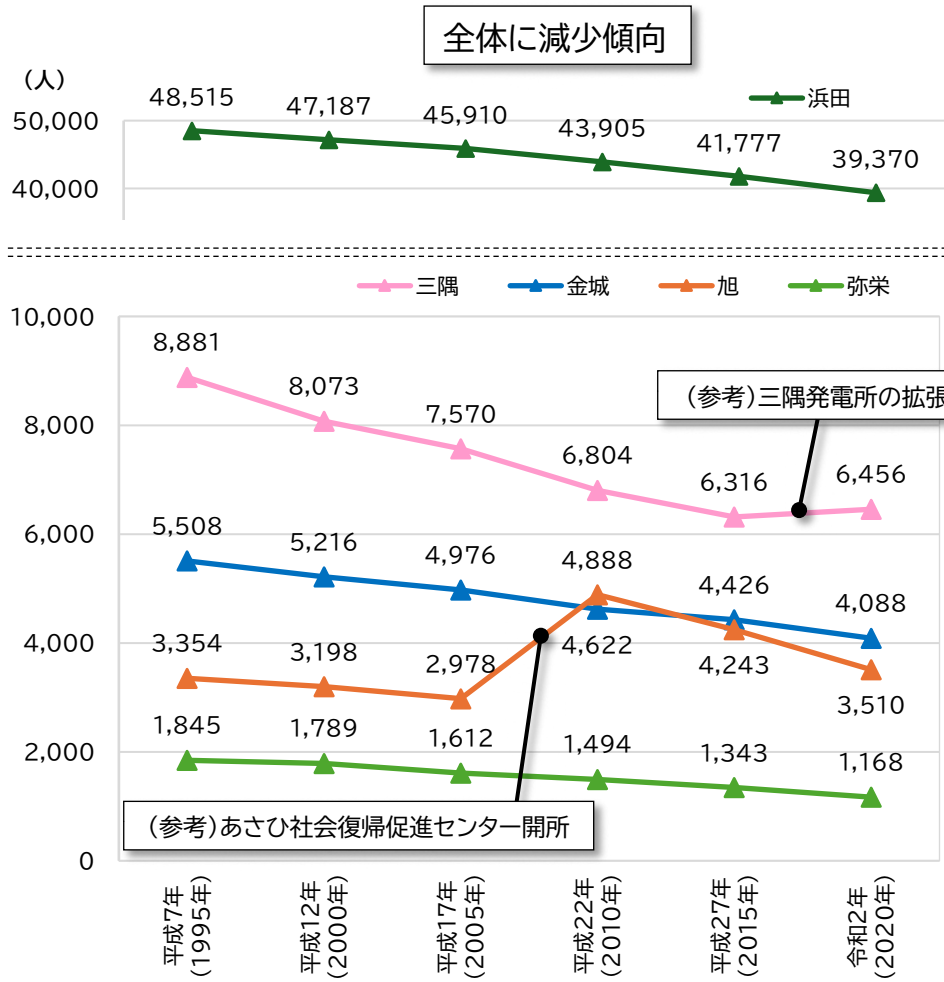


図 地域別人口の推移

(出典:国勢調査)

1. 浜田市の概況

【人口増減】

- 出生数は減少傾向、死亡数は横ばいからやや増加傾向となっており、**自然増減のマイナス幅が拡大傾向**となっている。
- 転入数は、男女で比較すると男性の方が多く、全体に男女とも緩やかな減少傾向となっている。
社会増減は、男女とも毎年マイナス100～200人程度で推移している。

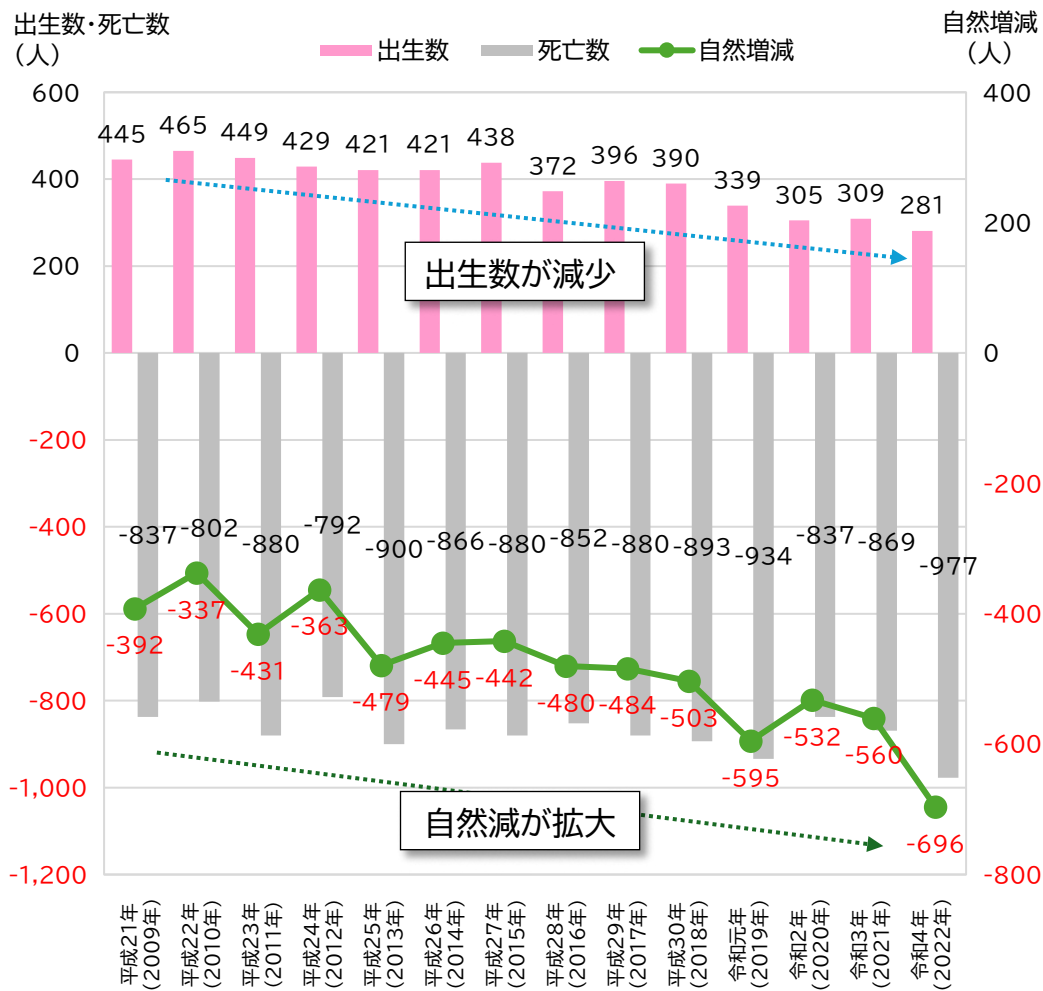


図 人口の自然増減の推移
(出典:社会・人口統計体系)

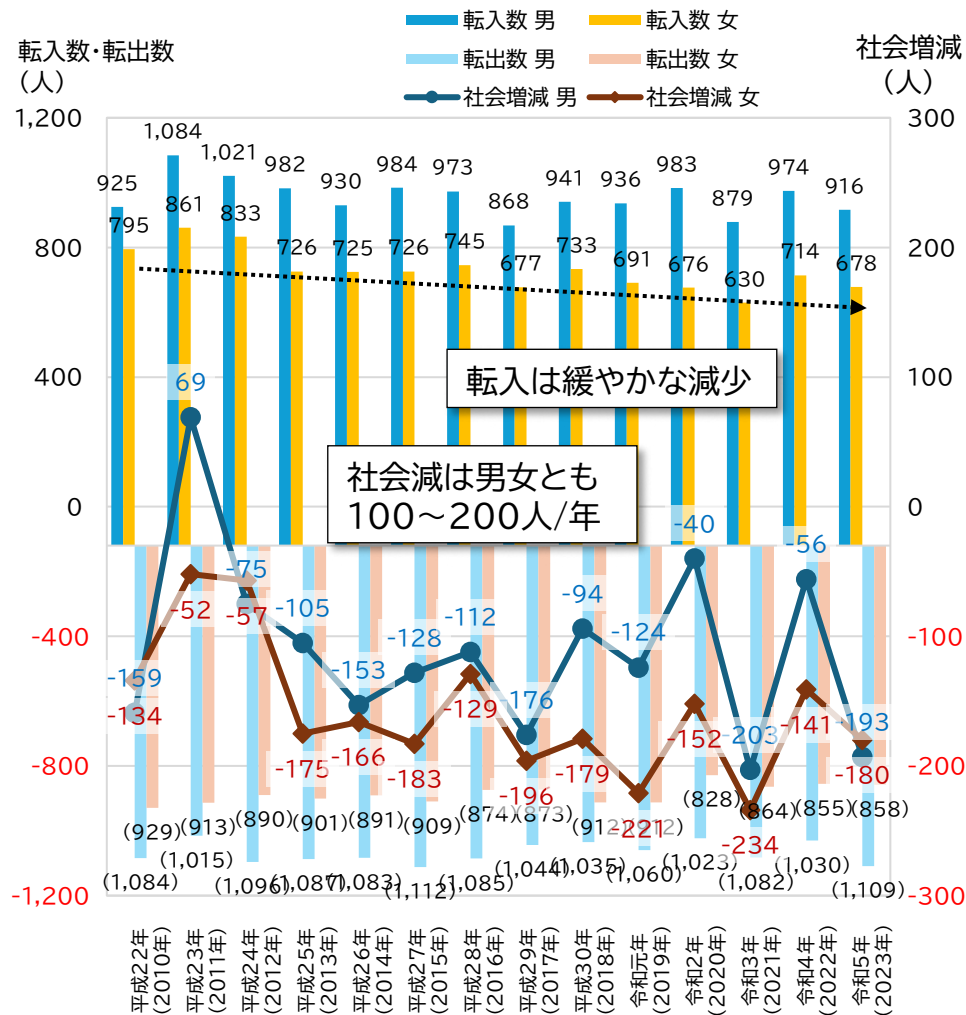


図 男女別・人口の社会増減の推移
(出典:社会・人口統計体系)

1. 浜田市の概況

【人口分布】

- 浜田・三隅・旭の都市計画区域内及び金城・弥栄の支所周辺等に人口の集約が見られる。
- 将来推計では、人口が多いエリアでも大きな減少幅となることが見込まれ、都市計画区域内の人口は令和2年～令和27年までの25年間で約25%減少することが予測される。

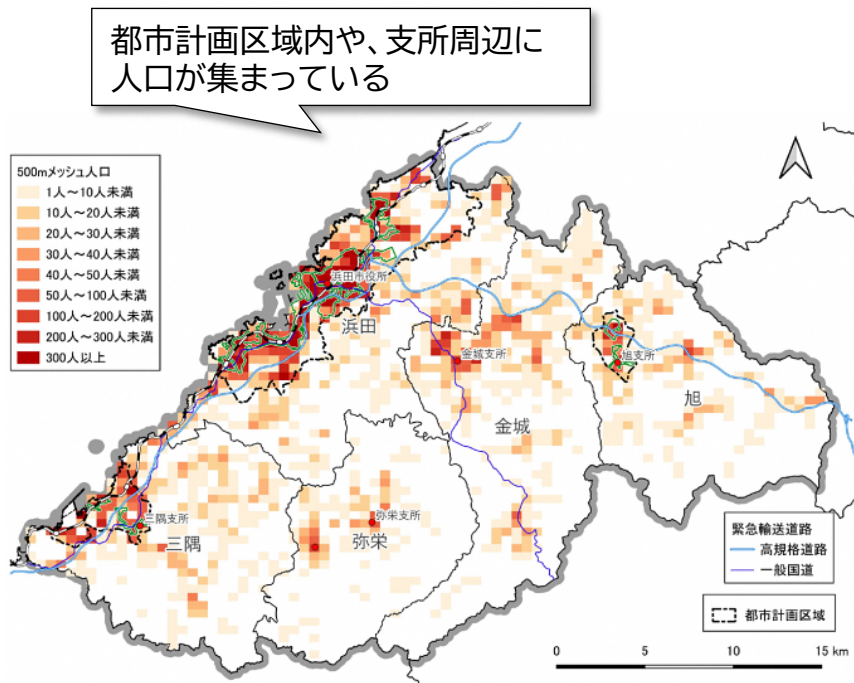


図 500mメッシュ人口(R2)
(出典:国勢調査)

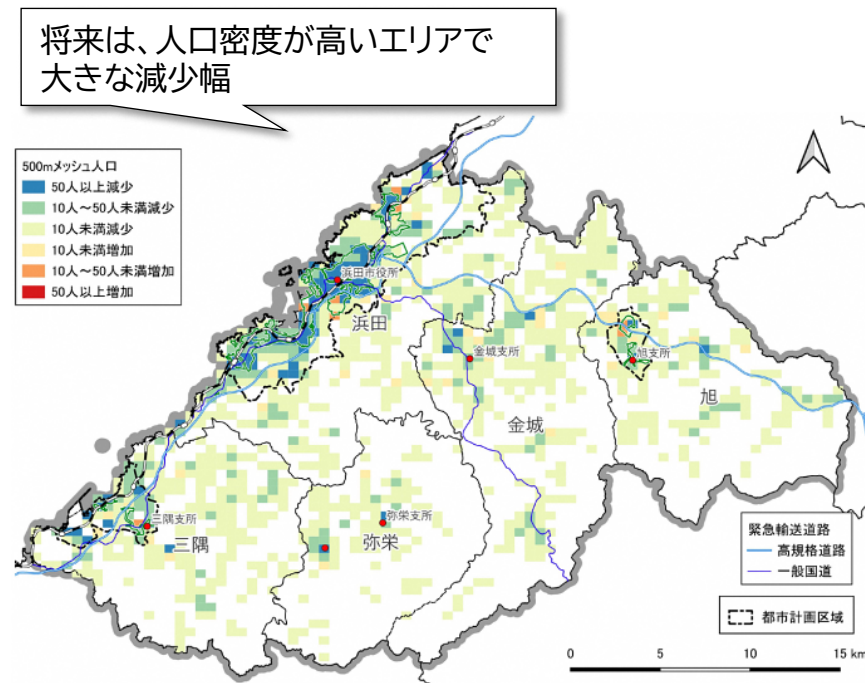
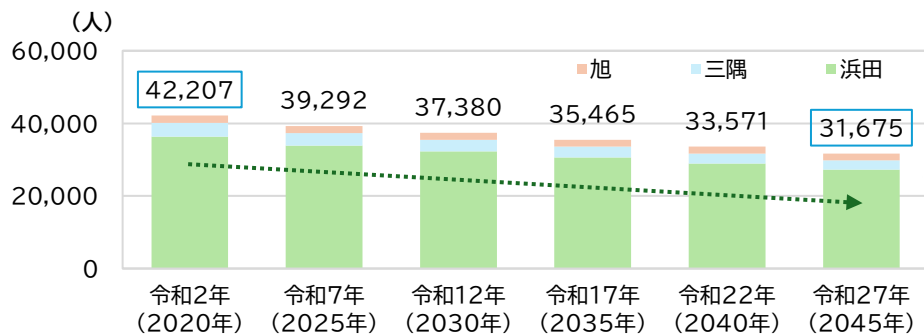


図 500mメッシュ人口増減(R2⇒R27推計)
(出典:国土数値情報)



令和2年～令和27年の25年間で約25%減の予測

図 都市計画区域内の推計人口
(出典:国土数値情報より、500mメッシュによる算出)

1. 浜田市の概況

【公共交通】

- 鉄道はJR山陰本線が海岸沿いに走っており、路線バスは民間路線バス(石見交通)や市生活路線バスが国道9号沿いや各地域間を結んでいる。
- その他の公共交通として、乗合タクシー、コミュニティワゴン輸送等が山間部を中心に運行されており、市内の広範囲をカバーしている。

鉄道・民間路線バス・市生活路線バスが地域間を結んでいる

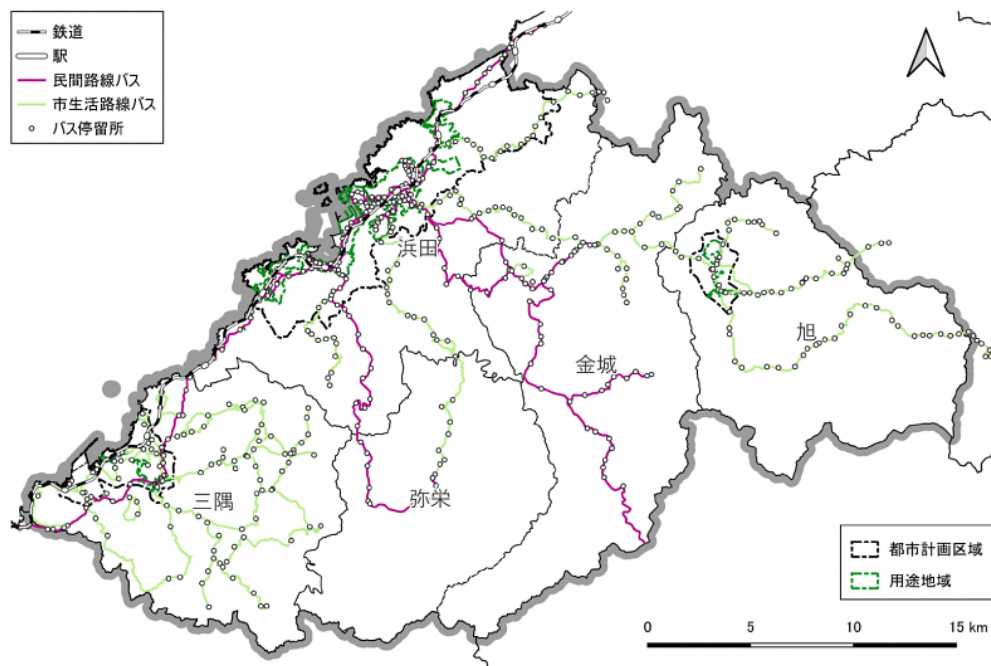


図 鉄道・バスの路線
(出典:国土数値情報、浜田市HP)

山間部では乗合タクシー、コミュニティワゴン輸送等が広範囲をカバーしている

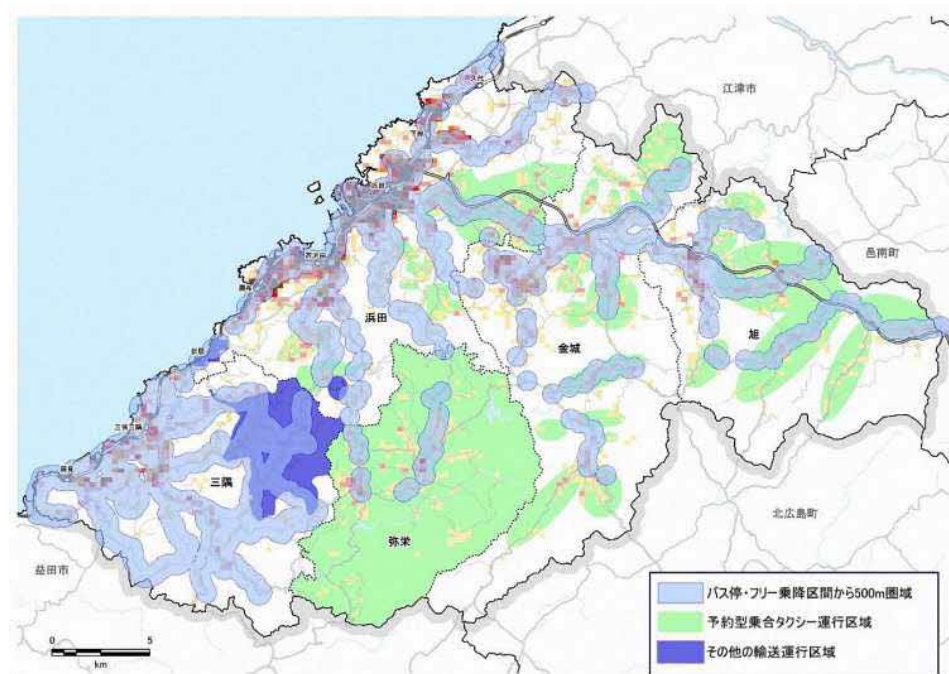


図 公共交通カバー圏
(出典:浜田市地域公共交通計画(R6.2))

※上図以外に、旭・金城・弥栄地域や浜田地域の美川・石見東地区で予約型乗合タクシーが運行されている他、三隅地域(井野地区)、浜田地域(羽原・大麻地区)には住民が主体となったコミュニティワゴン輸送が行われている。

※500m圏域の人口カバー率は、93.6%(R2人口ベース)となっている。

1. 浜田市の概況

【公共交通の利用者数】

- 鉄道は、普通列車の減便によって**本数が減少**し、浜田駅の1日平均乗車人数は543人である。
- 民間路線バスは、コロナ禍による利用者減少の後、微減傾向が続いている。市生活路線バスは、廃止路線の代替運行等により総数は回復したが、路線別に見ると**コロナ前の水準には戻っていない**。

【JR山陰本線】

方面（行先）	浜田駅から見た運行本数	
	H30年（2018）10月	R5年（2023）10月
江津・大田市方面行き	26本（内特急7本）	19本（内特急7本）
益田・東萩・新山口方面行き	21本（内特急7本）	18本（内特急7本）

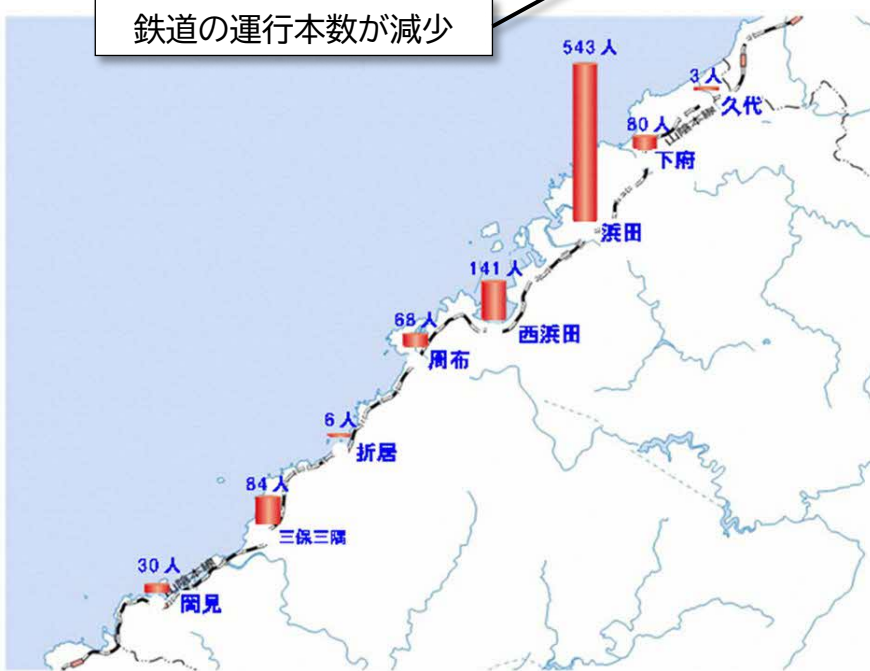
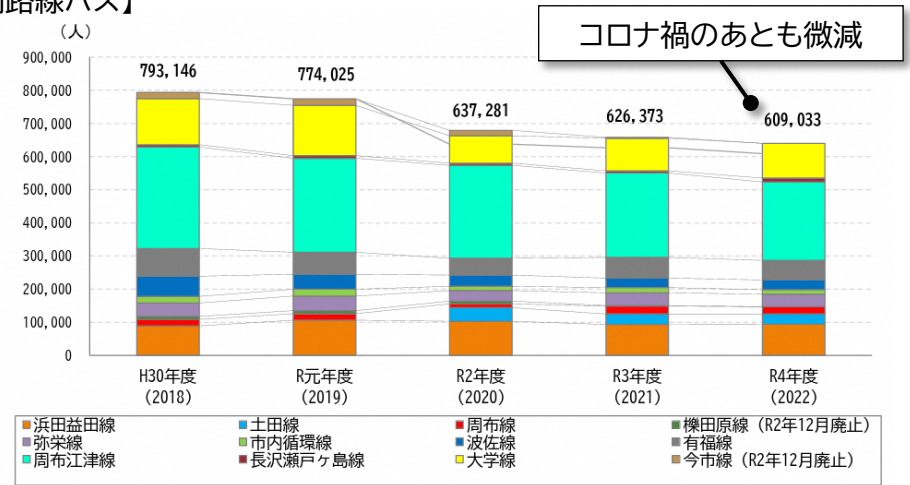


図 鉄道の1日あたり本数・利用者数(R2)
(出典:浜田市地域公共交通計画(R6.2))

【民間路線バス】



【市生活路線バス】

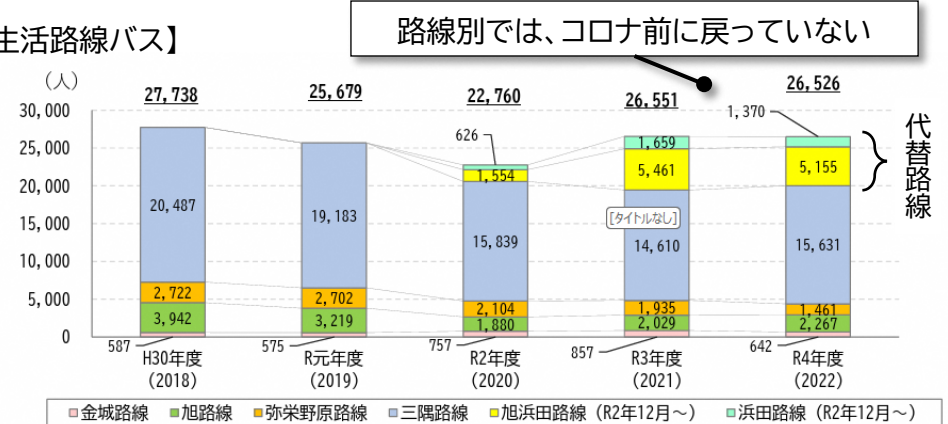


図 路線バスの年間利用者数
(出典:浜田市地域公共交通計画(R6.2))

1. 浜田市の概況

【生活利便施設】

- 生活に必要な施設を8分野に分類して立地状況を見ると、各分野とも浜田・金城・旭・弥栄・三隅の5地域それぞれに立地がある。
- 浜田・旭・三隅では、都市計画区域内で特に施設が集中している。
- 金城・弥栄では、複数の拠点に小規模の集約が見られる。

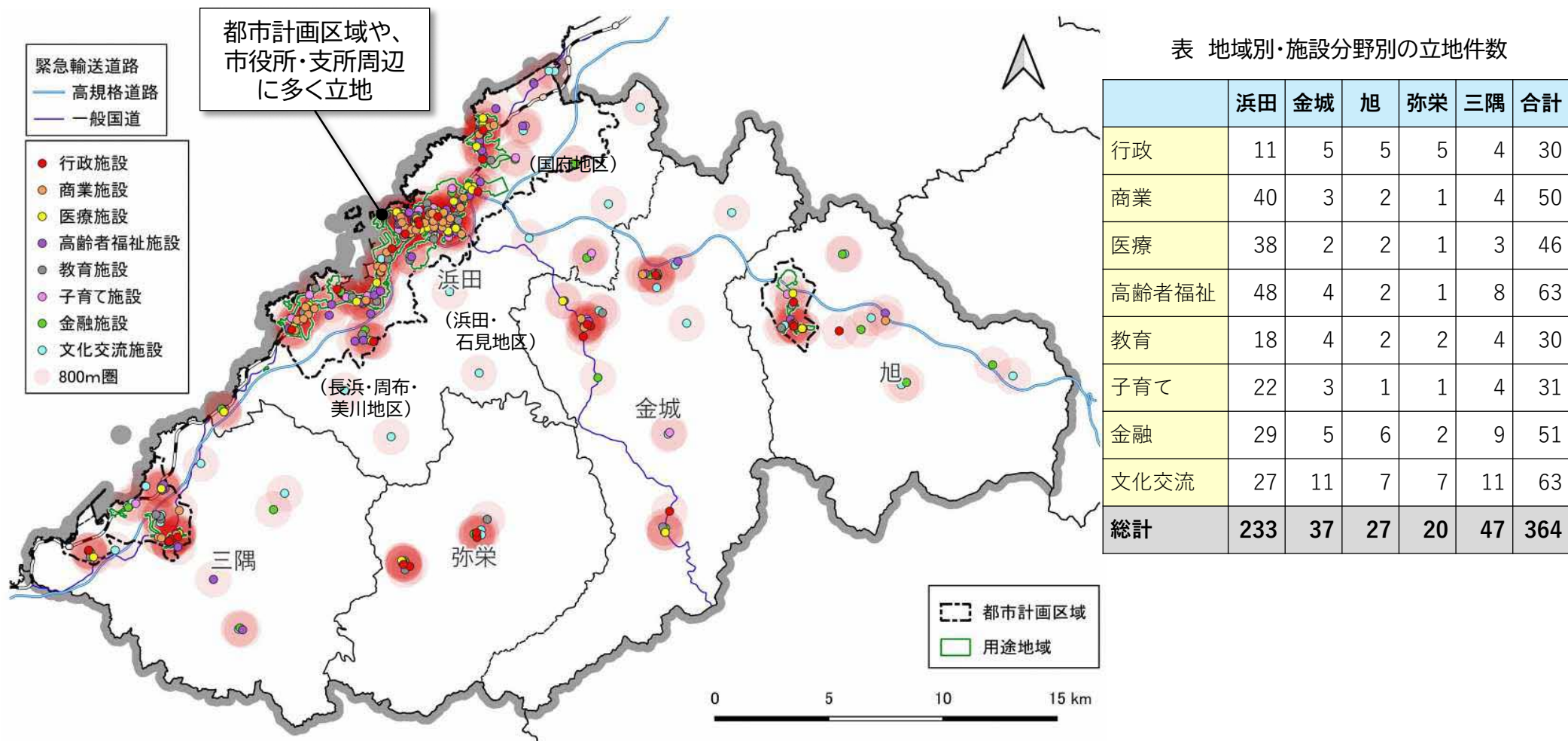
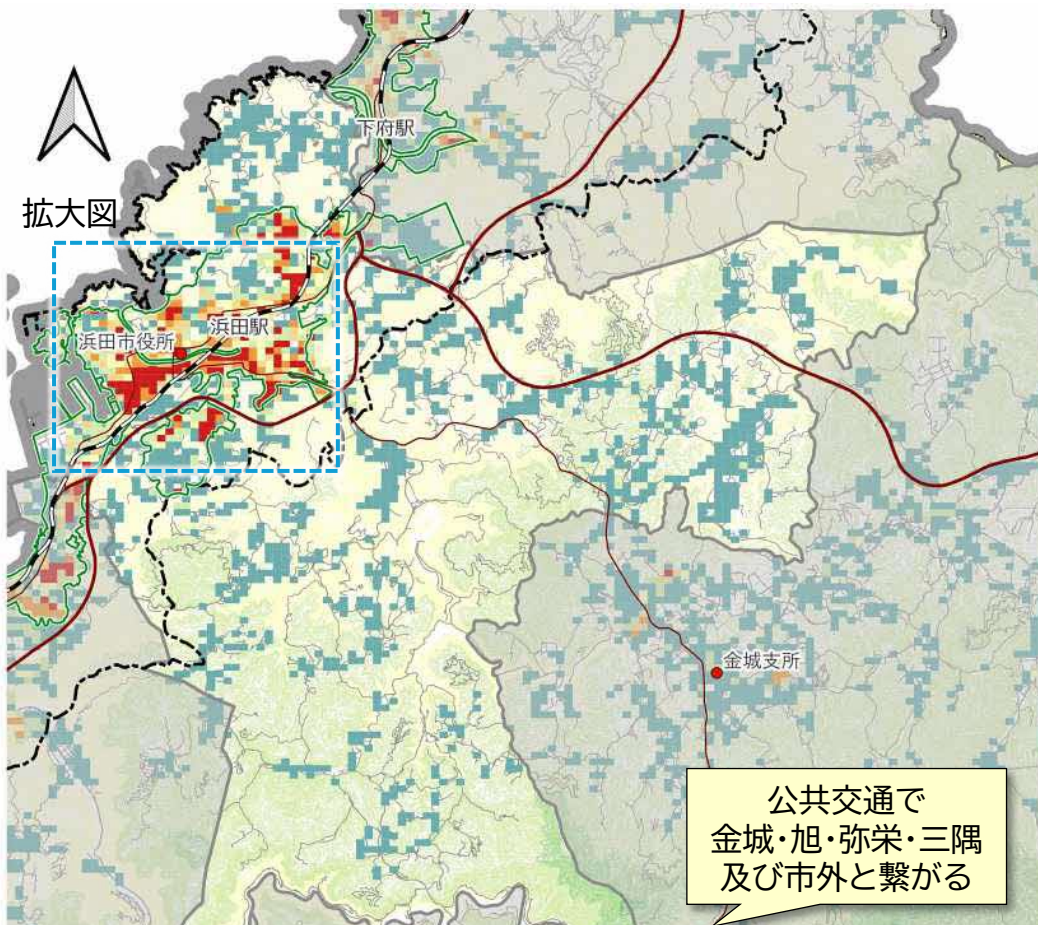


図 生活利便施設(8分類)の立地状況

2. 地域別の概況 ①浜田地域(浜田・石見地区)

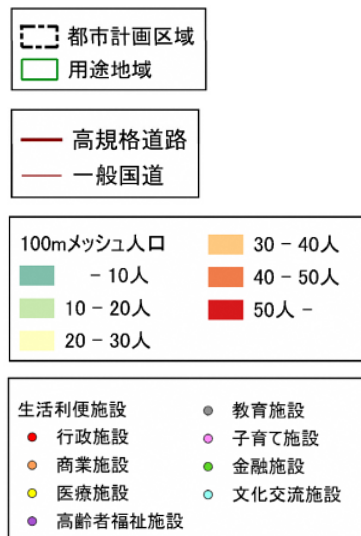
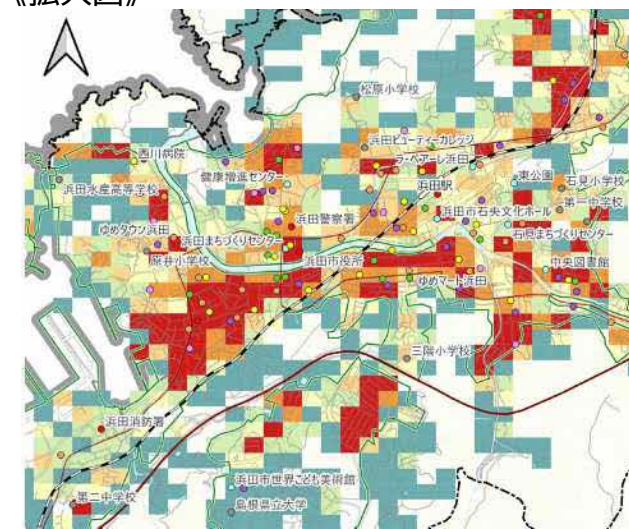
※浜田地域は範囲が広いため、都市マス进行参考に3つに区分

- 市役所をはじめとする多くの施設と人口が集まる、浜田市の中心部



《拡大図》

各データは令和7年10月現在



分類	小分類	立地する施設の名称
医療	病院	浜田医療センター、西川病院
	診療所	大石内科医院、沖田医院など21件
教育	大学	島根県立大学
	高等学校	浜田高等学校、浜田水産高等学校
	中学校	第一中学校、第二中学校
	小学校	原井小学校、石見小学校など4校
	その他の学校	浜田ビューティーカレッジ、浜田医療センター附属看護学校
金融	銀行・信金等	島根銀行、山陰合同銀行、JALまねなど9件
	郵便局	浜田郵便局など10件
行政	市役所・支所	浜田市役所
	警察	浜田警察署、交番2件
	消防	浜田消防署
高齢者福祉	通所・訪問型施設	社会福祉協議会訪問介護事業所、訪問看護ステーションそよかぜの丘など26件
子育て	認定こども園	みなと子ども園、ながさわ子ども園、夕日ヶ丘聖母幼稚園
	幼稚園・保育所	ちどり保育所など8件
商業	その他施設	子育て世代包括支援センター「すくすく」など2件
	スーパー	ゆめタウン浜田、キヌヤなど7件
	コンビニ・ドラッグストア	コンビニ12件、ドラッグストア3件
文化交流	その他大型商業施設	ヤマダデンキなど3件
	文化施設	中央図書館、郷土資料館、石史文化ホール、世界子ども美術館
	交流施設	浜田まちづくりセンター、石見まちづくりセンターなど7件
	スポーツ施設	東公園、ラ・ペアーレ浜田、サンマリン浜田、健康増進センター

分類	バス路線・鉄道駅	
民間路線バス	浜田市街地	市内循環線(18便)、長沢・瀬戸ヶ島線(12便)、大学線(22往復)
	弥栄方面	弥栄線(5往復)
	金城方面	波佐線(6往復)
	江津方面	周布・江津線(15往復)
	益田方面	浜田・益田線(7往復)
生活路線バス	広島方面	高速バス「いさりび号」(11往復)
	旭方面	今市浜田線(3往復)
	弥栄方面	弥栄野原線(4往復)
	有福温泉方面	有福線(5往復)
乗合タクシー	石見東地区	どんちっちタクシー(予約制)
鉄道	JR山陰本線	浜田駅

0 2 4 6 km

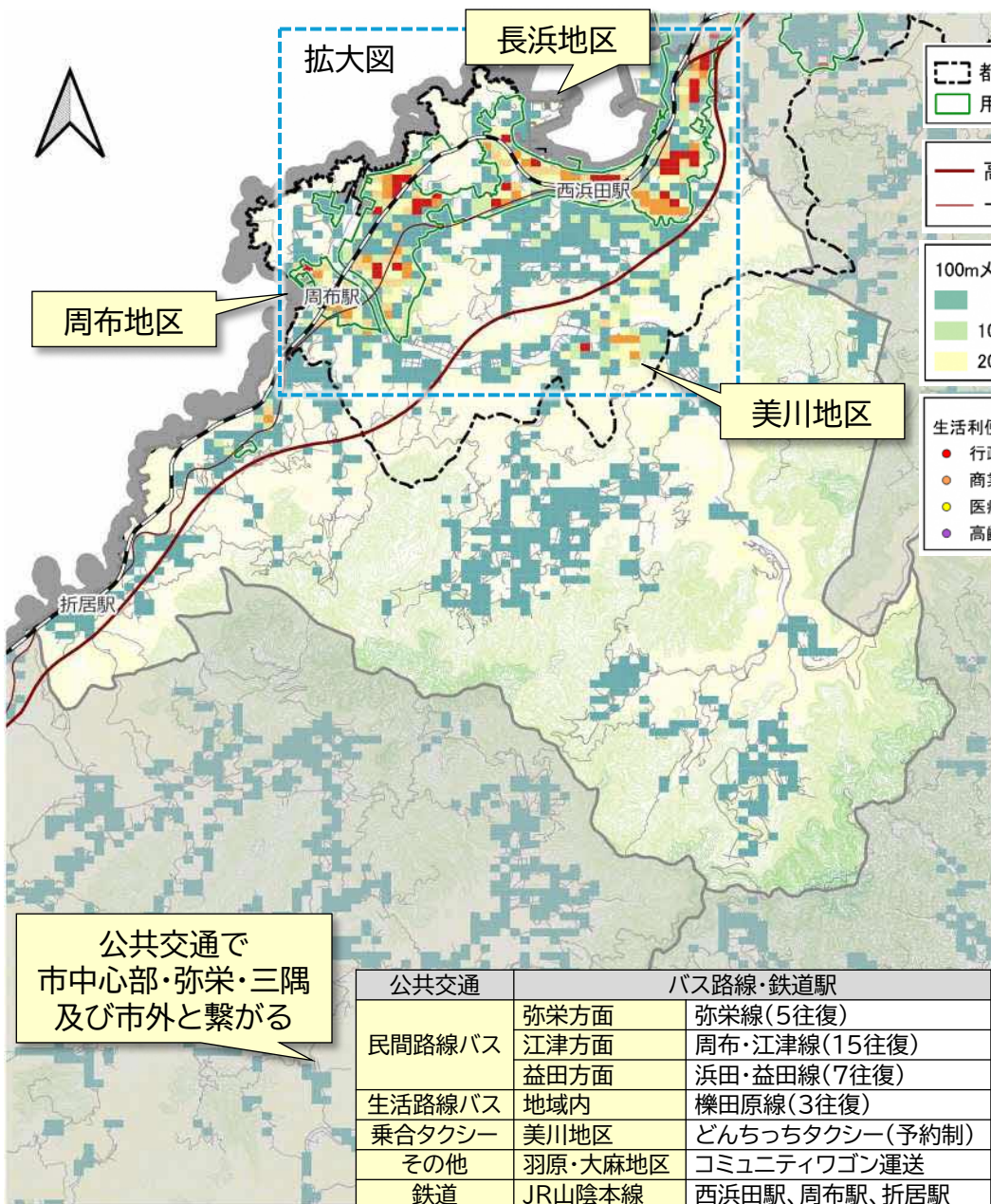
(バスの便数は平日1日あたり)

2. 地域別の概況 ②浜田地域(長浜・周布・美川地区)

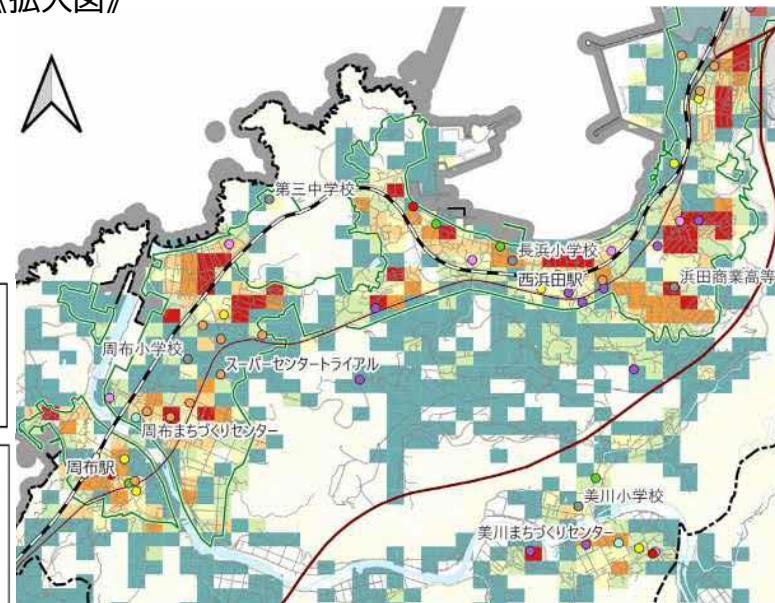
※浜田地域は範囲が広いため、都市マスを参考に3つに区分

- 市中心部の西側に位置し、国道や鉄道沿線を中心に市街地を形成

各データは令和7年10月現在



《拡大図》



分類	小分類	立地する施設の名称
医療	病院	山根病院
	診療所	大麻診療所、都医院、小池医院など7件
教育	大学	-
	高等学校	浜田商業高等学校
	中学校	第三中学校
	小学校	周布小学校、長浜小学校、美川小学校
	その他の学校	-
金融	銀行・信金等	JALまね、日本海信用金庫
	郵便局	周布郵便局など4件
行政	市役所・支所	-
	警察	周布駐在所、長浜駐在所、内村駐在所
	消防	-
高齢者福祉	通所・訪問型施設	指定訪問介護事業所・美川など13件
子育て	認定こども園	日脚保育園
	幼稚園・保育所	浜田幼稚園、周布保育園など5件
	その他施設	-
商業	スーパー	キヌヤなど4件
	コンビニ・ドラッグストア	コンビニ5件、ドラッグストア2件
	その他大型商業施設	ホームプラザナフコ
文化交流	文化施設	-
	交流施設	浜田市立マリン交流センター、周布まちづくりセンターなど6件
	スポーツ施設	-

公共交通で
市中心部・弥栄・三隅
及び市外と繋がる

公共交通	バス路線・鉄道駅	
民間路線バス	弥栄方面	弥栄線(5往復)
	江津方面	周布・江津線(15往復)
	益田方面	浜田・益田線(7往復)
生活路線バス	地域内	櫛田原線(3往復)
乗合タクシー	美川地区	どんちっちタクシー(予約制)
その他	羽原・大麻地区	コミュニティワゴン運送
鉄道	JR山陰本線	西浜田駅、周布駅、折居駅

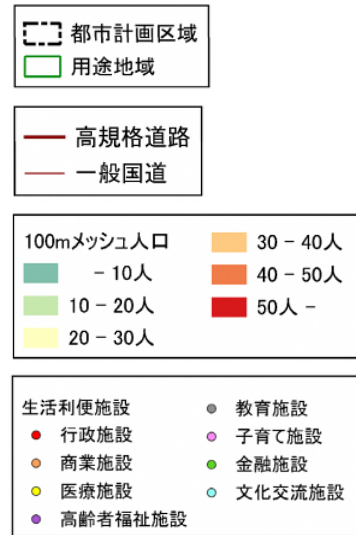
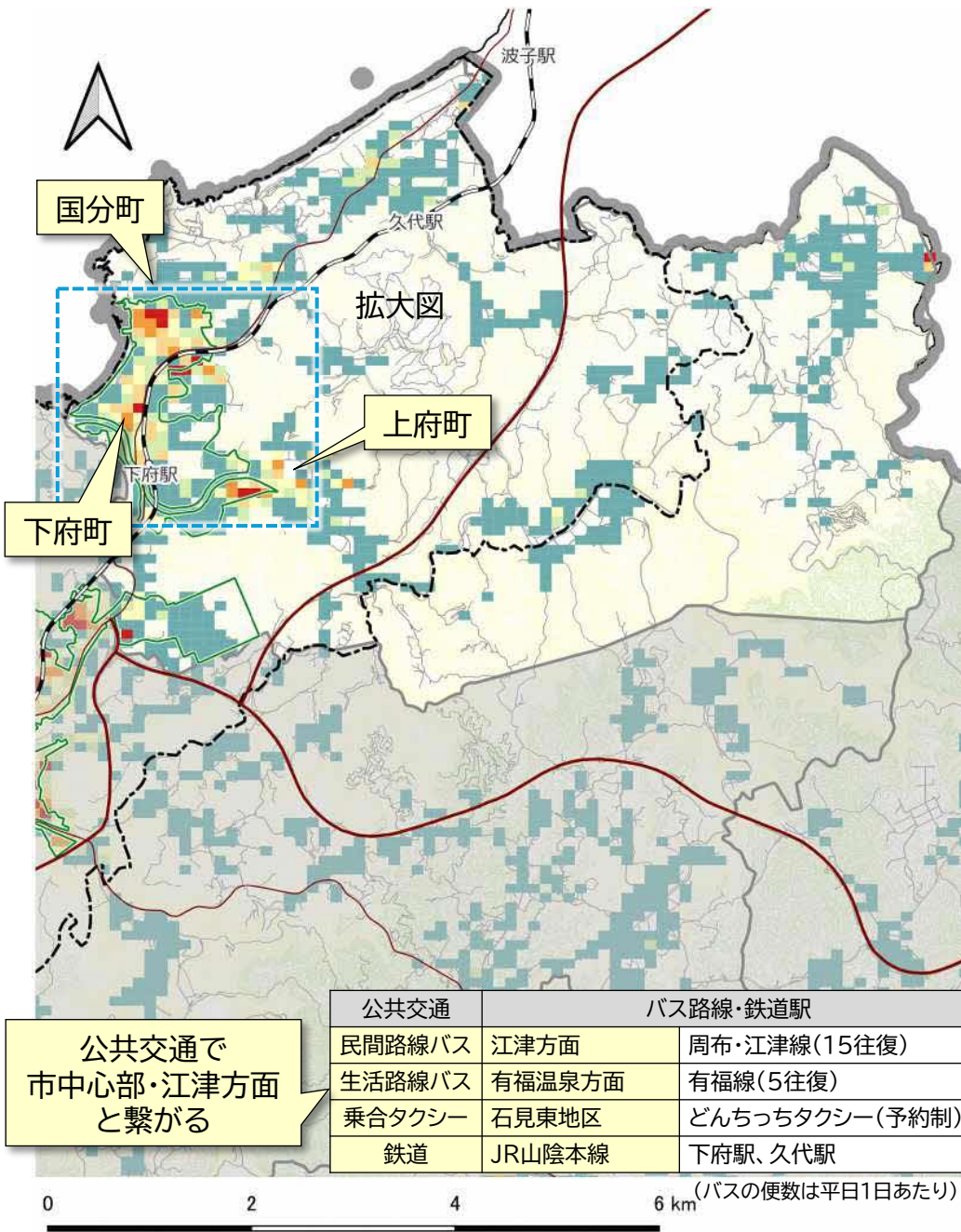
0 2 4 6 km (バスの便数は平日1日あたり)

2. 地域別の概況 ③浜田地域(国府地区)

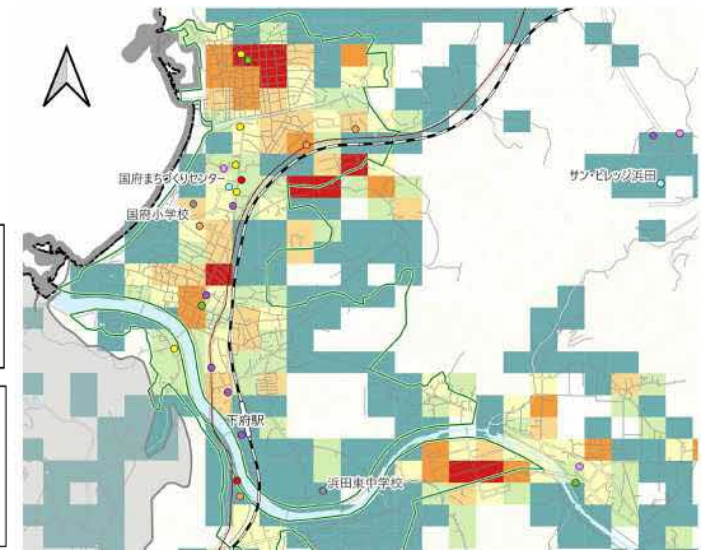
※浜田地域は範囲が広いため、都市マス进行を参考に3つに区分

- 市中心部の東側に位置し、国分町・下府町・上府町等に人口が集約

各データは令和7年10月現在



《拡大図》

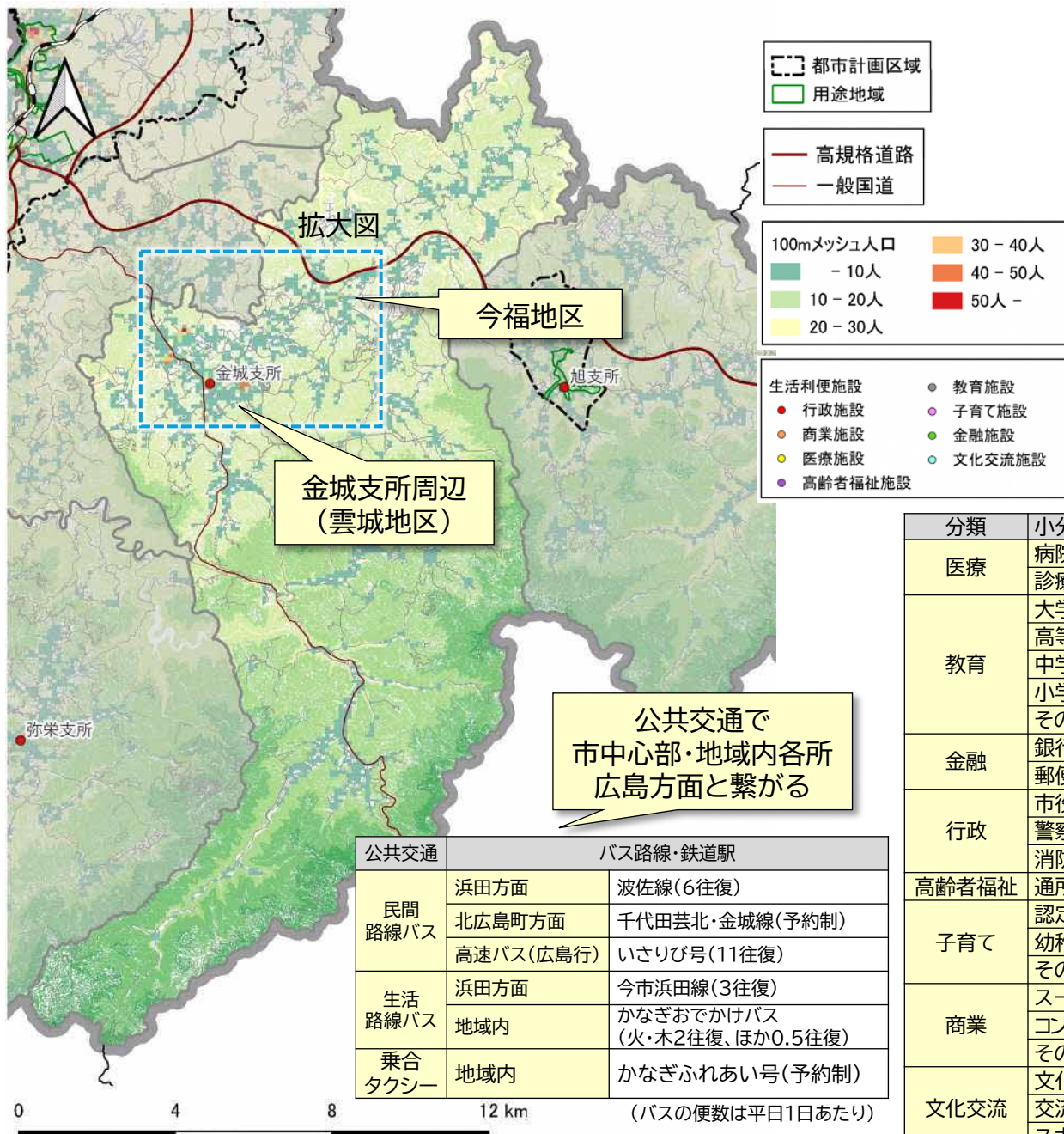


分類	小分類	立地する施設の名称
医療	病院	-
	診療所	やすぎクリニック、さわだクリニックなど5件
教育	大学	-
	高等学校	-
	中学校	浜田東中学校
	小学校	国府小学校
	その他の学校	-
金融	銀行・信金等	-
	郵便局	浜田国分郵便局など4件
行政	市役所・支所	-
	警察	唐鐘駐在所、上府駐在所
	消防	桜ヶ丘出張所
高齢者福祉	通所・訪問型施設	夕陽ヶ丘訪問リハビリテーションなど9件
	認定こども園	うみかぜこども園、こくふ子ども園
子育て	幼稚園・保育所	上府保育園
	その他施設	-
商業	スーパー	キヌヤ
	コンビニ・ドラッグストア	コンビニ3件
文化交流	その他大型商業施設	-
	文化施設	県立しまね海洋館アクアス、いわみ文化振興センターなど4件
	交流施設	国府まちづくりセンターなど3件
	スポーツ施設	サン・ビレッジ浜田

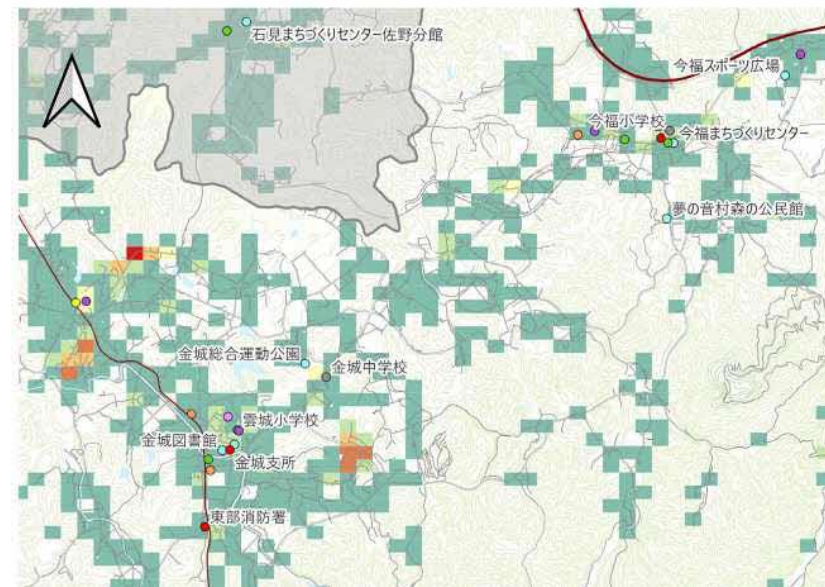
2. 地域別の概況 ④金城地域

- 市の南東部に位置し、支所周辺の雲城地区及び今福地区に生活利便施設が立地

各データは令和7年10月現在



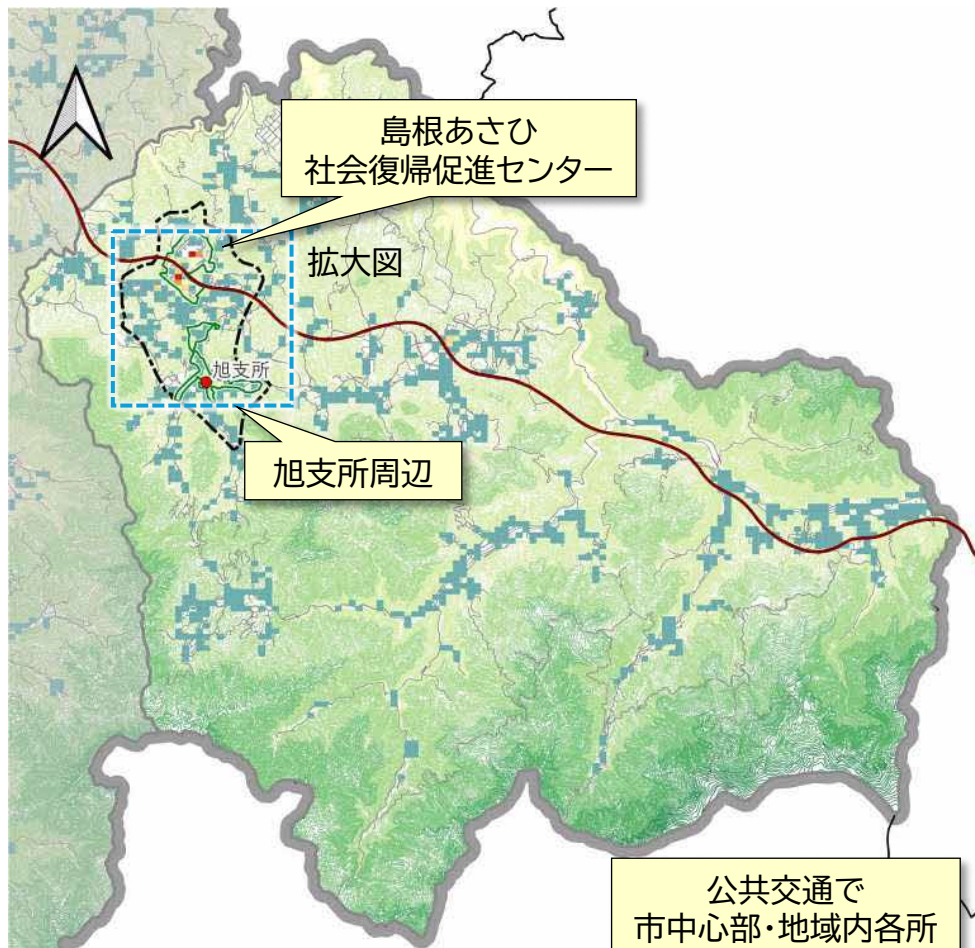
《拡大図》



分類	小分類	立地する施設の名称
医療	病院	-
	診療所	金城沖田医院、波佐診療所
教育	大学	-
	高等学校	-
	中学校	金城中学校
	小学校	雲城小学校、今福小学校、波佐小学校
	その他の学校	-
金融	銀行・信金等	JALまね
	郵便局	雲城郵便局など4件
行政	市役所・支所	金城支所
	警察	雲城駐在所、今福駐在所、波佐駐在所
	消防	東部消防署
高齢者福祉	通所・訪問型施設	社会福祉協議会金城さんあいデイサービスセンターなど4件
子育て	認定こども園	-
	幼稚園・保育所 その他施設	今福保育園、くもぎ保育園、おぐに保育園 -
商業	スーパー	キヌヤ
	コンビニドラッグストア	コンビニ2件
	その他大型商業施設	-
文化交流	文化施設	金城図書館、金城民俗資料館
	交流施設	夢の音村森の公民館、雲城まちづくりセンターなど7件
	スポーツ施設	今福スポーツ広場、金城総合運動公園

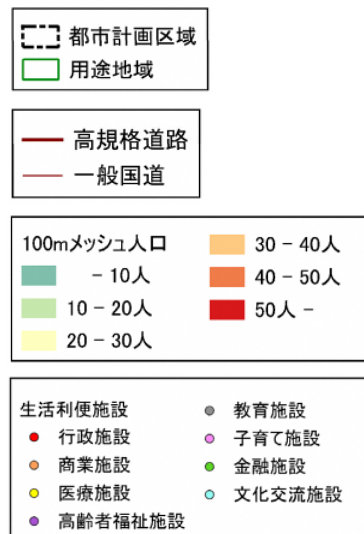
2. 地域別の概況 ⑤旭地域

- 市の東端に位置し、支所周辺及び社会復帰促進センター周辺に人口が集約



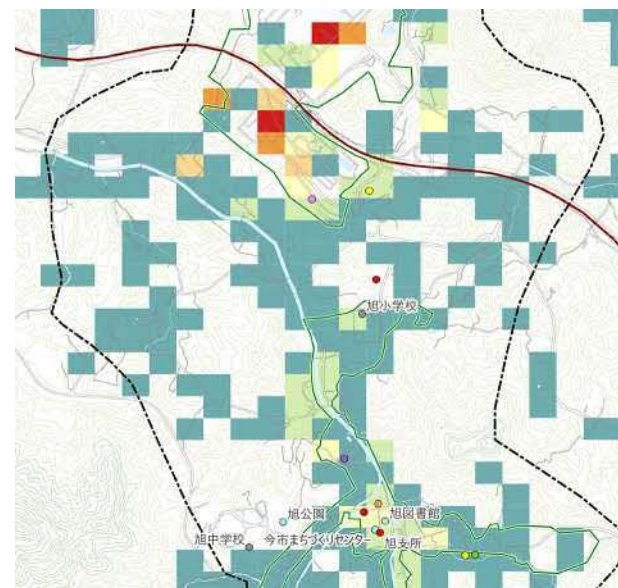
公共交通	バス路線・鉄道駅	
民間路線バス	高速バス(広島行)	いさりび号(11往復)
生活路線バス	浜田方面	今市浜田線(3往復)
	地域内	戸川線(2往復)ほか2路線
乗合タクシー	地域内、邑南町市木	さんさん号(予約制)

(バスの便数は平日1日あたり)



《拡大図》

各データは令和7年10月現在



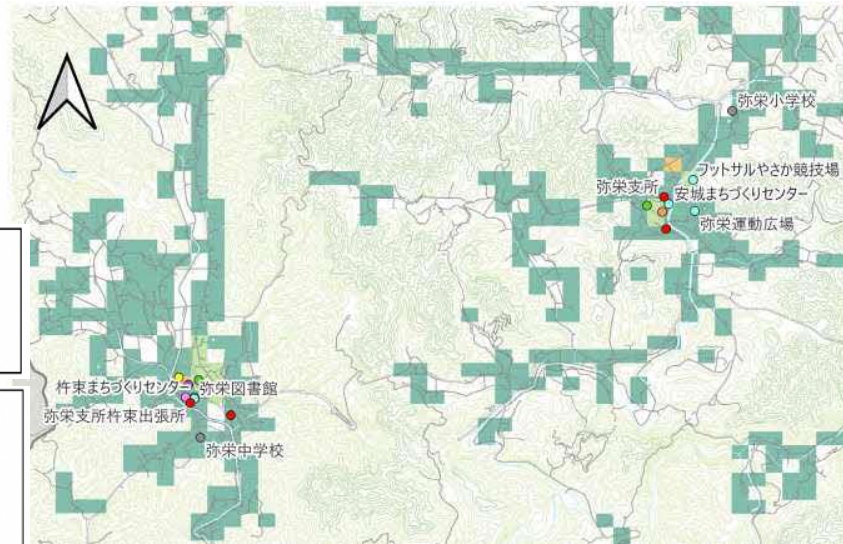
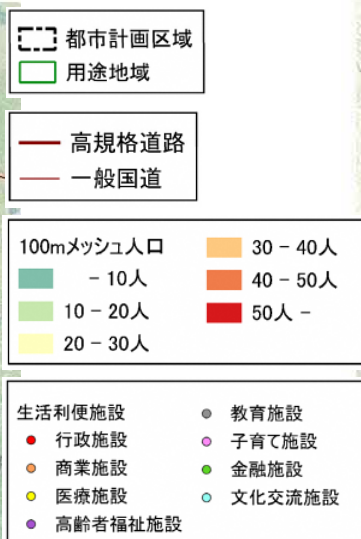
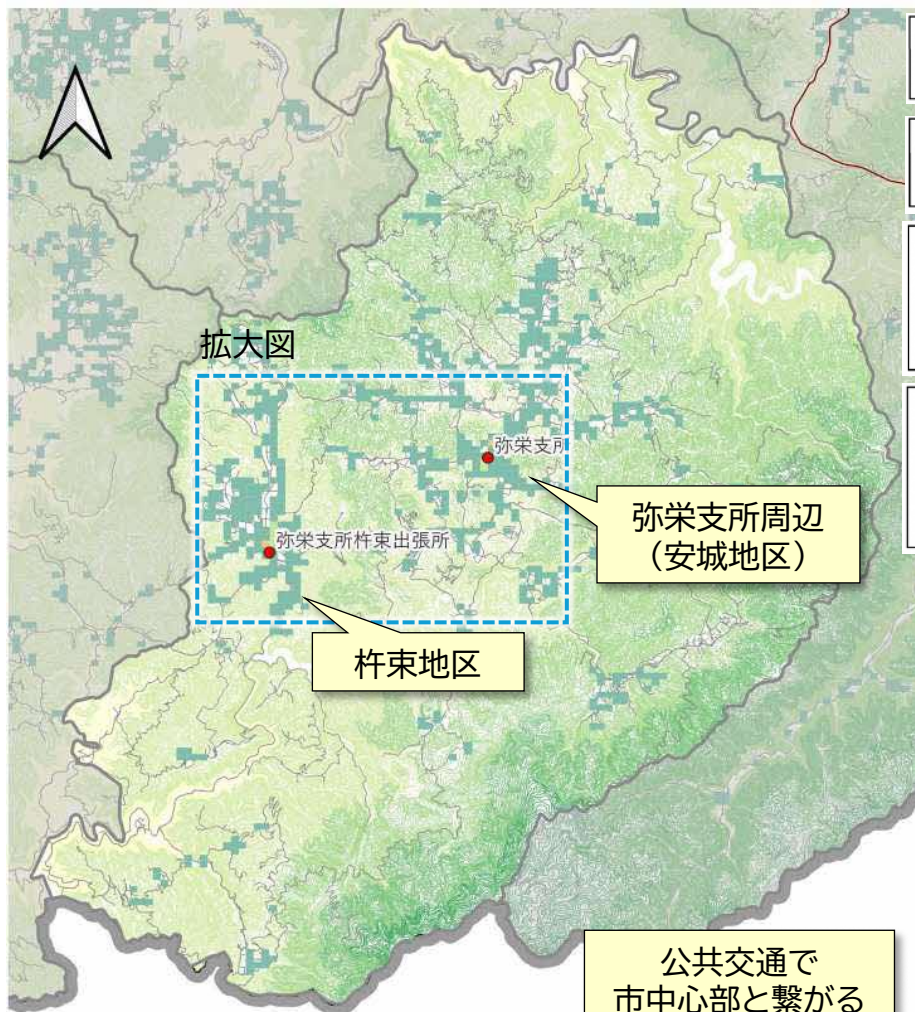
分類	小分類	立地する施設の名称
医療	病院	-
	診療所	あさひ診療所、酒井外科内科医院
教育	大学	-
	高等学校	-
	中学校	旭中学校
	小学校	旭小学校
	その他の学校	-
金融	銀行・信金等	日本海信用金庫
	郵便局	石見今市郵便局など5件
行政	市役所・支所	旭支所
	警察	今市駐在所、和田駐在所
	消防	旭出張所
高齢者福祉	通所・訪問型施設	旭・やすらぎの郷、あさひデイサービス
子育て	認定こども園	あさひ子ども園
	幼稚園・保育所	-
	その他施設	-
商業	スーパー	Aコープ、スーパーサワレン
	コンビニ・ドラッグストア	-
	その他大型商業施設	-
文化交流	文化施設	旭図書館
	交流施設	高齢者活動促進センター、今市まちづくりセンターなど5件
	スポーツ施設	旭公園

2. 地域別の概況 ⑥弥栄地域

- 市の南端に位置し、支所周辺(安城地区)及び杵束地区に生活利便施設が立地

各データは令和7年10月現在

《拡大図》



公共交通	バス路線・鉄道駅	
民間路線バス	浜田方面	弥栄線(5往復)
生活路線バス	浜田方面	弥栄野原線(4往復)
乗合タクシー	地域内	やうね号(予約制)

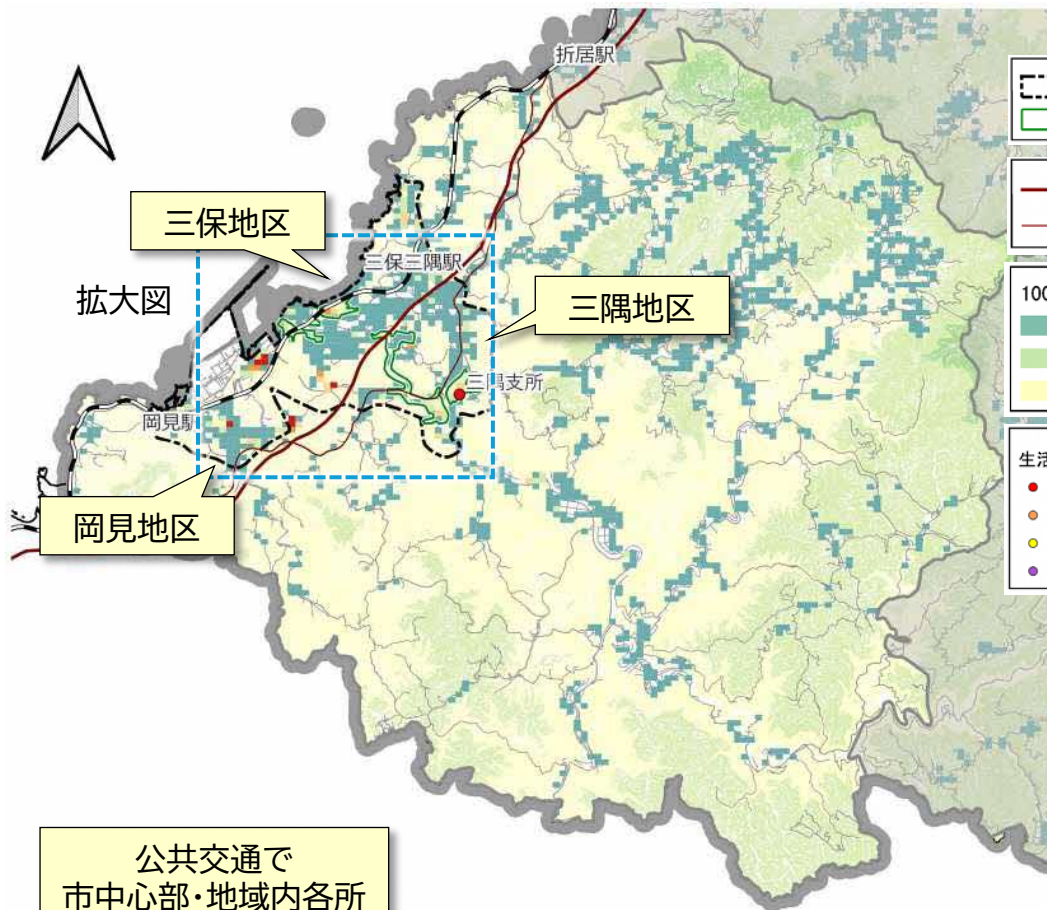
(バスの便数は平日1日あたり)

分類	小分類	立地する施設の名称
医療	病院	-
	診療所	弥栄診療所
教育	大学	-
	高等学校	-
	中学校	弥栄中学校
	小学校	弥栄小学校
	その他の学校	-
金融	銀行・信金等	-
	郵便局	安城郵便局、杵束郵便局
行政	市役所・支所	弥栄支所、弥栄支所杵束出張所
	警察	弥栄駐在所
	消防	弥栄出張所
高齢者福祉	通所・訪問型施設	弥栄デイサービスセンター
子育て	認定こども園	やさかこども園
	幼稚園・保育所	-
	その他施設	-
商業	スーパー	Aコープ
	コンビニ・ドラッグストア	-
	その他大型商業施設	-
文化交流	文化施設	弥栄図書館
	交流施設	安城まちづくりセンター、杵束まちづくりセンター
	スポーツ施設	弥栄運動広場、フットサルやさか競技場

0 4 8 12 km

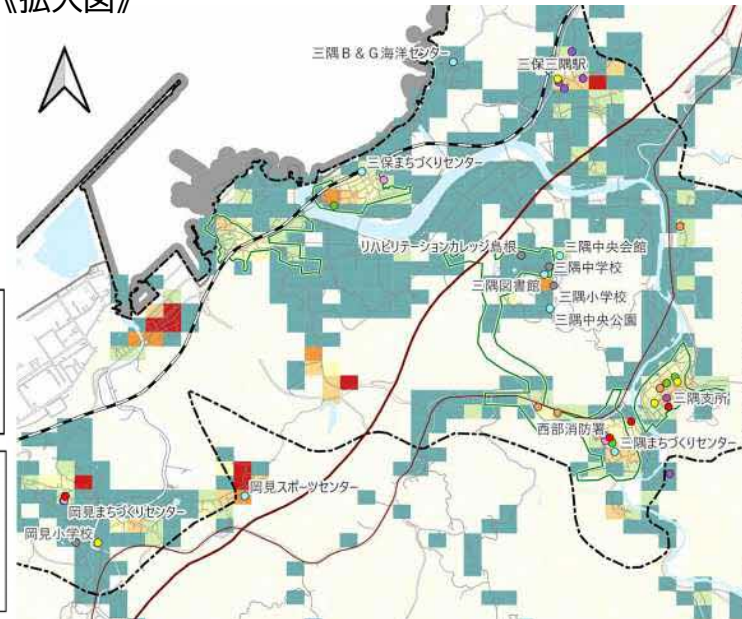
2. 地域別の概況 ⑦三隅地域

- 市の西端に位置し、三隅・三保・岡見など複数の地区から形成



各データは令和7年10月現在

《拡大図》



公共交通で
市中心部・地域内各所
益田方面と繋がる

公共交通	バス路線・鉄道駅	
民間路線バス	益田方面	浜田・益田線(7往復)
生活路線バス	地域内(ひゃこるバス)	循環線(14便)ほか11路線
その他	井野地区	コミュニティワゴン運送
鉄道	JR山陰本線	三保三隅駅、岡見駅

(バスの便数は平日1日あたり)

分類	小分類	立地する施設の名称
医療	病院	-
	診療所	野上医院、寺井医院など4件
教育	大学	-
	高等学校	-
	中学校	三隅中学校
	小学校	岡見小学校、三隅小学校
金融	その他の学校	リハビリテーションカレッジ島根
	銀行・信金等	山陰合同銀行など3件
	郵便局	三隅郵便局など6件
行政	市役所・支所	三隅支所
	警察	岡見駐在所、三隅駐在所
	消防	西部消防署
高齢者福祉	通所・訪問型施設	デイサービス心の里はるにれ など8件
	認定こども園	-
子育て	幼稚園・保育所	岡見保育所、三隅保育所、三保保育園
	その他施設	子育て支援センターおひさま
商業	スーパー	Aコープ、キヌヤ
	コンビニドラッグストア	コンビニ2件
	その他大型商業施設	-
文化交流	文化施設	三隅図書館、三隅中央会館
	交流施設	三隅まちづくりセンターなど6件
	スポーツ施設	三隅中央公園、岡見スポーツセンター、三隅B&G海洋センター



3. 災害リスク

- **土砂災害:** 市域内の広範囲に警戒区域が指定され、中心市街地にも土砂災害リスクが多く存在する

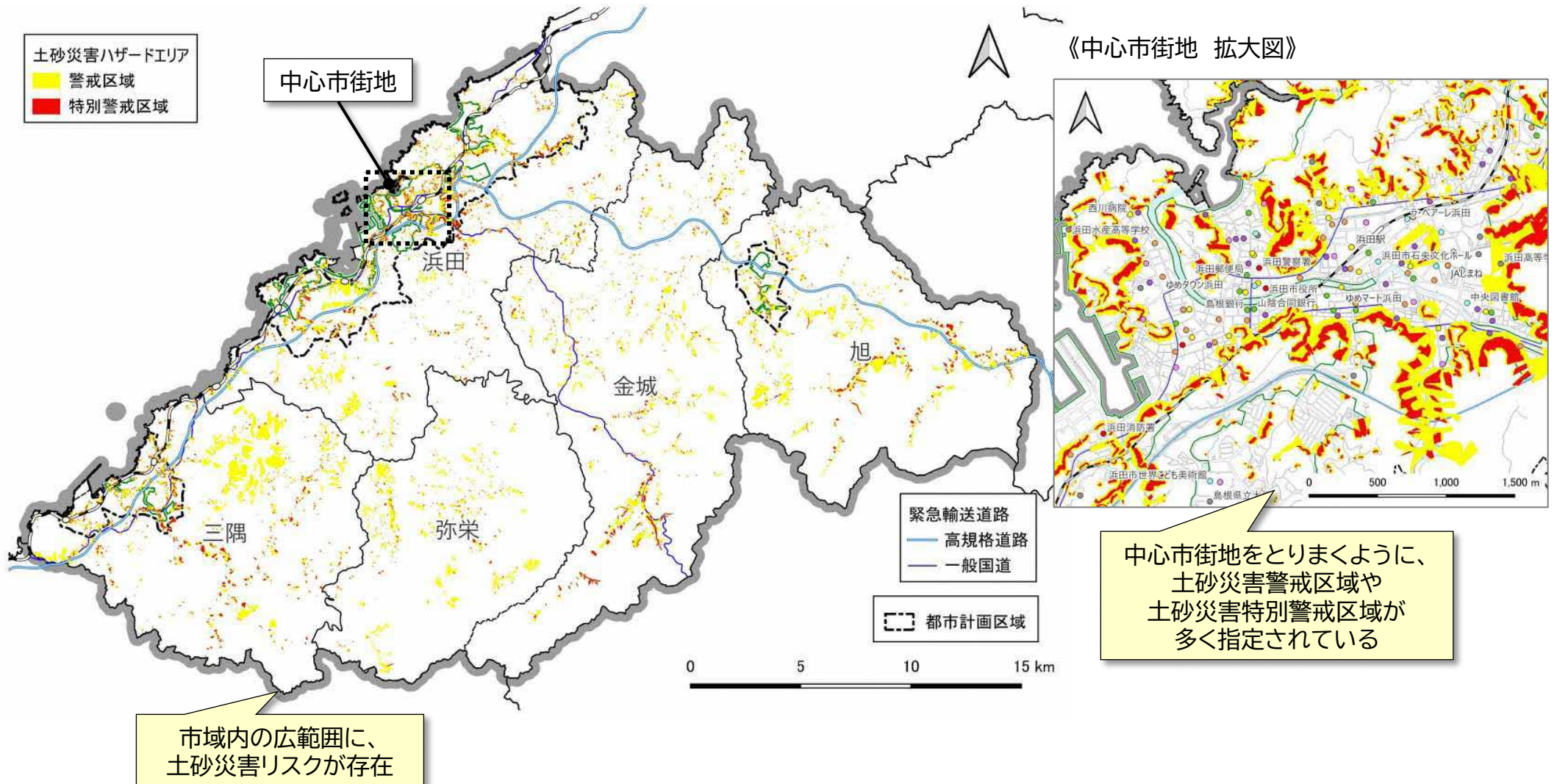


図 土砂災害警戒区域・特別警戒区域

3. 災害リスク

- **河川洪水(想定最大規模)**：下府川、浜田川、周布川、三隅川の下流部等に、おおむね最大3~5mの浸水リスクがある

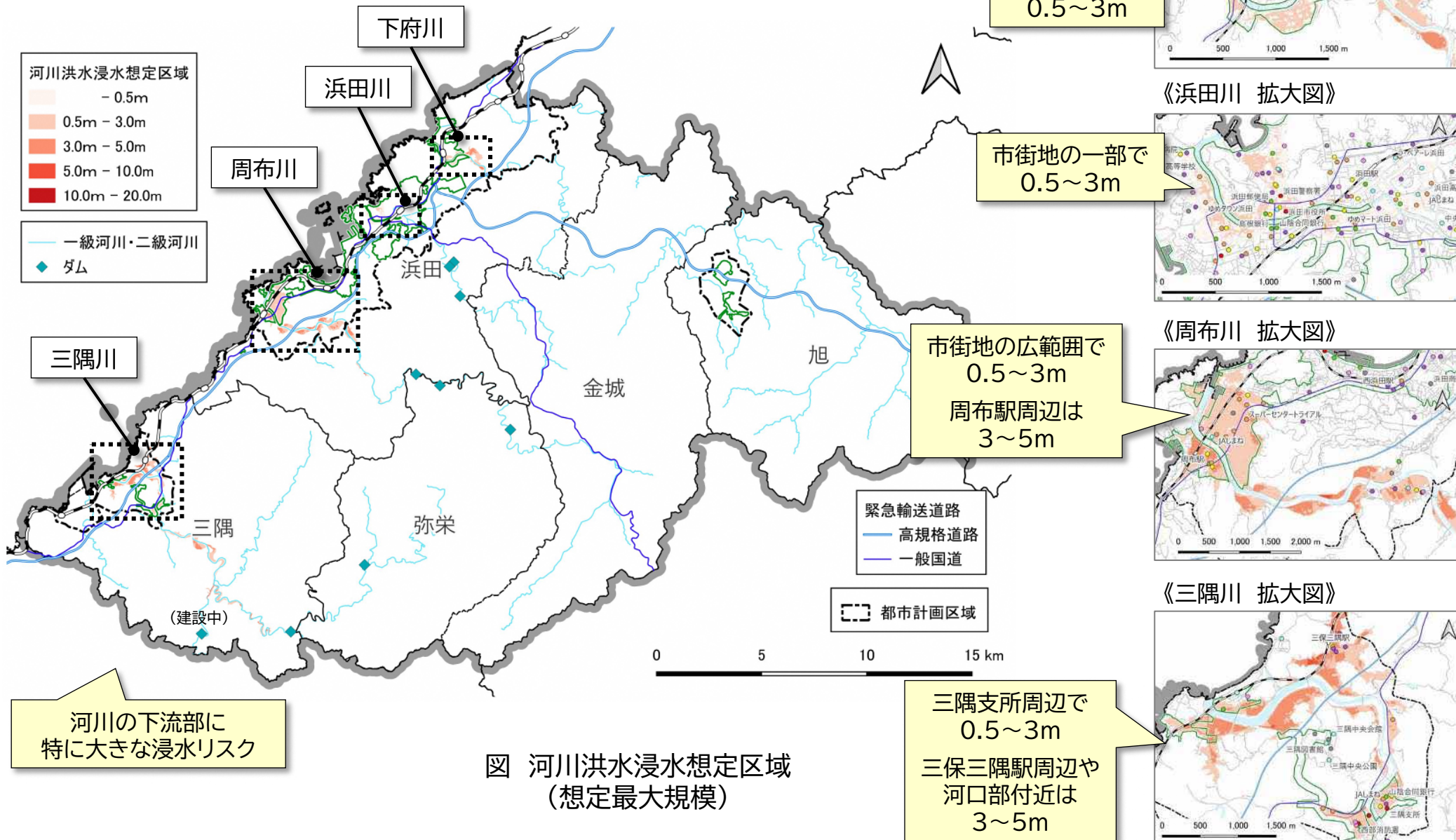


図 河川洪水浸水想定区域 (想定最大規模)

3. 災害リスク

- **津波:** 浜田港周辺や松原町周辺等の海岸沿いに、最大3~5mの津波リスクがある

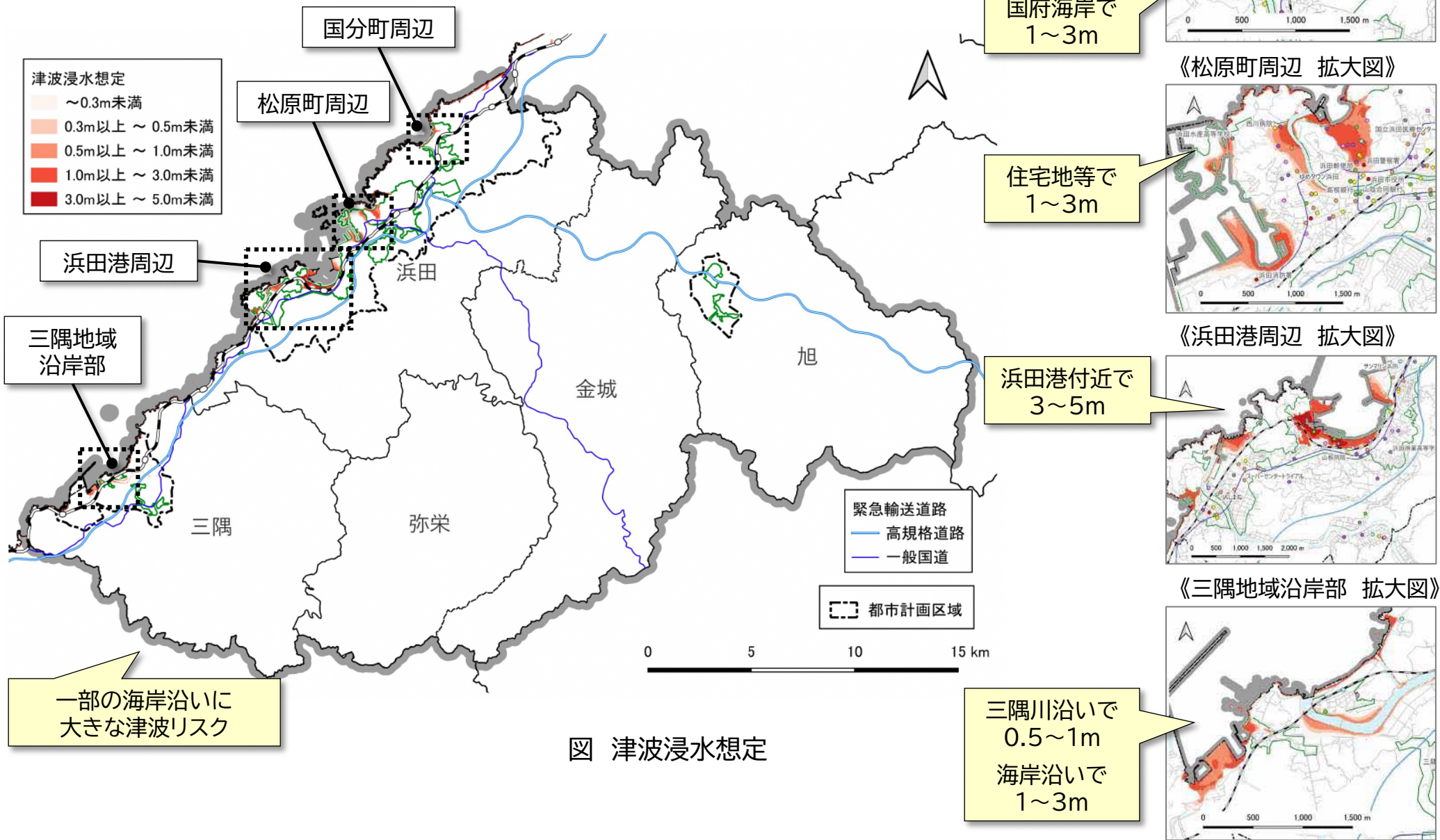


図 津波浸水想定

4. 解決すべきまちづくりの課題

項目	現況	主要課題
人口	<ul style="list-style-type: none"> ○人口減少が続き、少子高齢化 ○まちなかにおいても、今後は人口密度の低下が進む見込み ○自然増減・社会増減ともにマイナスで推移 	<ul style="list-style-type: none"> ●人口減少の中にあっても、一定の人口密度とまちなかにぎわいを維持することが重要 ●「いつまでも暮らしていけるまちづくり」を目指し、必要な生活サービスの維持を図ることが必要
公共交通	<ul style="list-style-type: none"> ○鉄道・路線バスや乗合タクシー、コミュニティワゴン輸送で広範囲をカバー ○公共交通の利用は減少傾向で、自家用車への依存度が高い 	<ul style="list-style-type: none"> ●効率的な運行形態を整備し、公共交通網を維持することが必要 ●自家用車への過度な依存からの転換と、公共交通の利用促進が重要
都市機能施設	<ul style="list-style-type: none"> ○5地域それぞれにおいて生活利便施設が立地しているが、山間部では数が少ない ○都市計画区域内や、支所周辺に多く立地 	<ul style="list-style-type: none"> ●既存の機能を活かしつつ、不足する機能は地域間で補完し合うことにより、各地域の生活サービスを維持することが必要
災害リスク	<ul style="list-style-type: none"> ○中心市街地において、土砂災害リスクの高いエリアがある ○沿岸部付近において、河川洪水や津波リスクの高いエリアがある 	<ul style="list-style-type: none"> ●リスクが高いエリアは誘導区域から除外する等、安全・安心なエリアへの居住を促進することが重要 ●ハード・ソフト対策を継続的に推進することが必要
市民意見	<ul style="list-style-type: none"> ○自宅から徒歩または公共交通で移動できる範囲に、生活サービス機能の集約が求められている ○若い世代ほど、市外への転出意向が強い ○気軽に利用できる飲食等のチェーン店や、医療施設・子育て支援施設が不足している ○浜田駅周辺等、空き地・空き家の活用とまちの魅力の向上が求められている 	<ul style="list-style-type: none"> ●コンパクト・プラス・ネットワークのまちづくりを推進し、徒歩や公共交通で移動可能なエリアへの機能集約が必要 ●浜田駅周辺をはじめとする中心市街地の有効活用と魅力向上の取組が必要